



第 21 回

# 花と緑のまちづくり賞

表彰式 令和 5 年 11 月 11 日

花と緑のまちづくり賞は、花と緑によるうるおいのある美しいまちづくりを推進するため、花と緑のまちづくり活動に顕著な功績のあった団体を表彰するものです。令和5年8月8日に審査委員会を開催し、本年度の受賞団体が決定しました。



主催



公益財団法人

福岡市緑のまちづくり協会

協賛

有限会社グリーンハウスペル  
(フクオカ エフェクト)



受賞

# 愛宕の森と緑を守る会

地域の森を守り歴史をつなぐ  
希少種の保全と景観保全

愛宕山を中心とする森と歴史・文化を守り、未来に伝えていくための保全・啓発活動を実施。熱心な整備により竹の侵食を食い止め、広大な森が本来の姿を取り戻しました。また、植物・昆虫観察会や歴史・文化講演会の開催、ツクシヤマザクラ等希少種保全の為の研修会を実施しており、専門性の高さや教育の観点が高く評価されました。

■活動場所：西区愛宕2丁目（愛宕山）

■会員数：約90名 ■結成：平成27年



## 活動のきっかけ・目的

2015年、大型マンション建設に伴う自然・文化の消滅に対する危機意識から始まった。愛宕山のこの環境を子々孫々に手渡すことができるよう、これ以上の自然の退行や歴史文化の衰退を抑制し、50年、100年先を見据えた保全をしていくことを目的として活動している。



受賞

# 梅香る町梅林推進プロジェクト

名所づくりで地域コミュニティを形成  
植樹から梅見会の開催へ

地名にちなんだ「梅」をツールに、地域コミュニティの形成と名所づくりに取り組む。七隈・金山校区15箇所、計118本の植栽を完了。景観美はもちろんのこと、梅見会の開催や景観づくりのプロジェクトを通じた学生の巻き込み方や見せ方、世代をつないで行けるようなエンターテインメント性と運営のセンスが高く評価されました。

■活動場所：城南区梅林2丁目

■会員数：約20名 ■結成：平成28年



## 活動のきっかけ・目的

「梅林」という名の町なのに、町なかに梅が全くない！という声を聞き、出来るなら地域の皆でその名のとおり、この町を梅いっぱい、梅香る町にしたいと思ったのがきっかけ。町の美化を促進するこの活動を通して地域住民通しのコミュニケーションが深まり、災害時に助け合えるような環境が醸成されることを目的に活動している。





# 花壇プロムナード・いきみなみ

## 小学校花壇まちごとガーデニング 13町内コンテストの開催

### 活動のきっかけ・目的

壱岐南小学校前の全長約80mの花壇で自治協の花好きが中心となって活動。限られた予算の中で宿根草を多く取り入れ、ローメンテで美しく保っています。また、毎年春に13町内が参加し、自慢の花作品を持ち寄る「まちごと・ガーデニングフェスタ」を企画・実施。管理活動のみならず、地域を巻き込んだ活動が高く評価されました。

壱岐南小学校前の道路拡幅に伴ってできた花壇を素敵なものにして自治協議会が中心となって会員募集。園芸好きな女性を中心に口コミで広がり花壇を管理することとなった。花壇の管理及び花づくり活動を行い、地域の美化活動を促進することを目的に活動している。

- 活動場所：西区戸切2-17 (壱岐南小学校外花壇)
- 会員数：約15名 ■結成：平成26年



### 柏原園芸クラブ 南区柏原3丁目・6丁目



### 樋井川中央公園フラワーガーデン 城南区樋井川3丁目21(樋井川中央公園)



### わたなべ平和の森を守る会 南区平和2丁目396番1外(平和北特別緑地保全地区)



## 「花と緑のまちづくり賞」について

福岡市緑のまちづくり協会では、平成15年から「花と緑のまちづくり賞」として、民有地の優れた緑化事例の顕彰を行って参りました。第14回からは対象を花と緑のまちづくり活動に顕著な功績のあった団体を顕彰するものに見直し、実施しています。

福岡市緑のまちづくり協会は、今後も当賞を始めとして様々な事業を通し、花と緑のまちづくりを推進していきます。

## 表彰の対象

前年度までに「都市緑化及び都市公園保全美化運動並びに花と緑のまちづくりの推進に功績のあったものに対する市長表彰」の「花と緑のまちづくり地域活動功労者」を受賞し、かつ活動を5か年以上継続している団体が対象です。

今年度の対象団体は花づくりの活動をされている団体、緑の保全管理をされている団体合わせて155団体でした。

## 審査の視点

良好な環境づくり(デザイン性、管理状況)  
他の模範となる活動(会員活動、団体の外に向けた活動)

## 総評

### 審査委員長

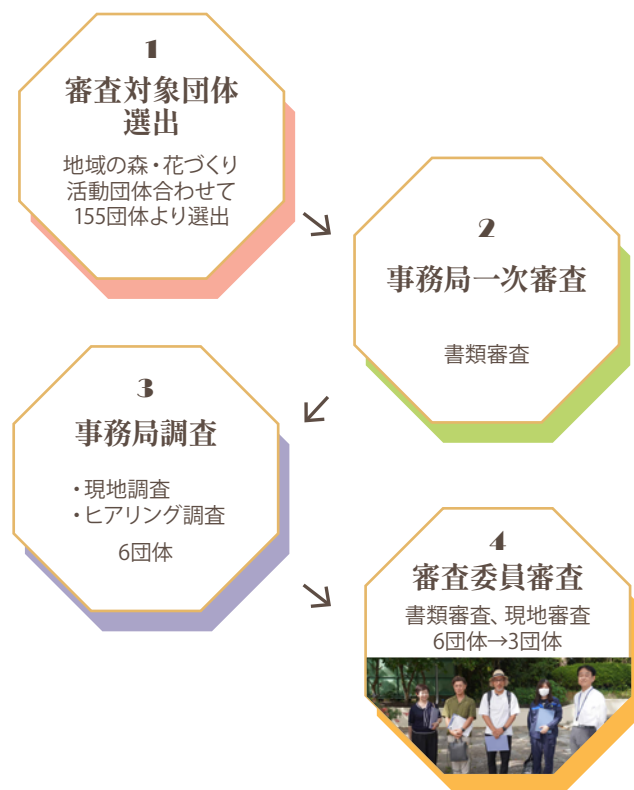
西日本短期大学 緑地環境学科  
教授 高宮 さやか



今年入選の6団体は地域の美化・清掃活動から始まったものが多く、町内の公園を毎日清掃した上、外周の植栽を見事な宿根草花壇に変えた団体、水やりが大変な街路の花壇を23年にわたって花で彩ってきた息の長い団体など、現場を拝見して頭が下がる思いです。受賞の「花壇プロムナード・いきみなみ」は小学校の外周花壇の取組みにパトロールを兼ねて13町内が協力し、毎年100作品以上のコンテナやハンギングバス

## 審査の経過

事務局による155団体の予備審査により、6団体を選出  
事務局によるヒアリング調査及び現地調査  
審査委員による書類審査、現地審査により3団体を選出



ケットを展示するイベントの開催にまで発展しました。また、今年は森づくり活動における幅広い取り組みについて評価が高く、屋敷林跡を町内の触れ合いの場兼子ども達のあそび場とする取り組みの他、受賞となった「愛宕の森と緑を守る会」は社叢林に入り込んだ竹の伐採に始まり、林内整備だけでなく、この地に自生するツクシヤマザクラの増殖や希少野生植物の保全を行っている点が学術的にも評価でき、「梅香町梅林推進プロジェクト」は造成地を改良しての並木づくりであり、草刈作業も大変でありながら、壁画によるアーティスティックなPRはとても印象的でした。どちらもパンフレットの作成や展示、自然観察学習会、イベントなど維持管理以外の活動も活発で、こうした花づくり・森づくりを超えた展開に、福岡の一人一花運動が想定を超えた拡がりを見せていることを感じます。ちなみに愛宕の戦前のロープウェイ遺構の発掘には審査員一同興味津々でした。